

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	松澤 宏樹
	全体計画	令和 3年度		～	令和 3年度		経費区分	実施計画事業費		内線	3781	
事務事業名	16124 予防台帳電子化システム事業											
所 属	450100 消防本部・消防本部・消防署											
施 策	13021400 消防・救急体制の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	090101 消防費・消防費・常備消防費										
	事業	030000 予防台帳電子化システム事業										
事業目的						事業概要・効果						
消防予防台帳の適正な電子化を推進し、予防消防の充実強化を図る。						台帳電子化の現行システムでは、法令改正に適切せず、サーバー及びソフトの契約期間も異なっていた。今般、上記契約期間の終了に伴い、サーバー不要な環境に転換するとともに、現行の救急救助システムへ追加することで操作上のストレスや違和感が軽減され、保守・メンテナンスの充実、法令改正に適時対応し、ソフトの開発が不要で統一的な電子化推進を図ることにより、予防消防の充実強化による市民が消防行政に寄せる安全安心の負託に応える。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
前年度に引き続き実施計画の査定を受けて令和3年度当初予算計上。	令和3年6月契約完了。11月からの運用開始を目指す。6月から7月にかけて職員研修実施。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	なし					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		0	3,773
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	1,067
一般財源		0	2,706
人員数(人)	正規職員	0.0	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	1,393.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	1,393.6
市民一人当たりの経費		0.0	0.1
総額		0.0	5,166.6

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	3,773	予防台帳電子化構築委託料3,773
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	法的根拠に基づく各種予防対象物の的確な把握により適正な予防事務を推進する必要性を実現するもの。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	システム導入による事務の効率を高める。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	新たなシステムを構築するより既存システムへのオプションパッケージの組み込み構築により初期投資を大幅に軽減させ効率化を実現させた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

早期着手を目指したが、新型コロナウイルスの影響で、データ移行にやや遅れが生じた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	統合・終了
総合評価コメント	
今年度事業で構築事業完了。以後今年度含めて一般管理事務費にて経常経費移行完了。	

2次評価

次年度以降の方向性	統合・終了
2次評価コメント	
今年度で移行事業が完了するが、引続き運用面での対応をきちんと構築していくこと。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	